| | |
|---|---|
| 日能研 | 5年 |
| | 算数 |
| 学習内容 | 10回　相似比と面積比<br>11回　速さと単位<br>12回　進行グラフに整理する<br>13回　旅人算 |
| 家庭学習ポイント | 11月は「相似比と面積比」で図形と比の応用を学習した後、速さの単元に突入します。「相似比と面積比」に関しては、ピラミッド形の相似において、対応する辺がどこなのか、相似比と面積比の関係が曖昧にならないように注意しましょう。面積は「たて×横」で計算するので、相似比が2倍になると面積比は2×2＝4倍ですね。複合図形で相似形を発見する問題や、補助線を引いて自分で相似形を作る問題も出てきます。速さに関しては、とにかく注意すべきは単位です。3公式は単位をそろえて計算することを徹底しましょう。ダイヤグラムでは「傾き」がポイント。傾きが「急」「緩やか」「変化」のそれぞれが何を意味しているのかを正確におさえましょう。旅人算では、基本的な問題でも図を書いて状況を確認する習慣をつけることが大切です、他の文章題同様に「書かなくてもできるから書かない」という習慣がついてしまうと、応用問題など「書かなければできない」問題の判別が甘くなってしまいがち（できるだけ図を書かずに解こうとする）です。「図は必ず書く」くらい徹底するのがポイントです。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | ピラミッド型の相似で、対応する辺が正確にわかっていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 三角形が重なっていても常に「2つの三角形をくらべている」という意識で考えましょう | □ |
| | チェック2 | 複雑な図形の中で、相似な図形を見つけることができていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 同じ大きさの角に「◯・△・□」といった記号をつけてもいいですね | □ |
| | チェック3 | 速さの単位換算が正確にできていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 時速◯km⇒分速□mといった換算でミスをしないよう注意しましょう | □ |
| | チェック4 | 進行グラフを使うメリットが説明できますか？ | チェック |
| | 解決策 | 「時間が経っていく様子を目で見て確かめられる」といった返答であればOKですね | □ |
| | チェック5 | 旅人算では、必ず図を書いて考えていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 他の文章題同様「書かなくてもできるから書かない」が習慣化すると応用問題でつまずきます | □ |

| | |
|---|---|
| 日能研 | 5年 |
| | 国語 |
| 学習内容 | 10回　主題<br>11回　体験と感想①<br>12回　体験と感想②<br>13回　形式と表現技法 |
| 家庭学習ポイント | 物語文、随筆文、詩を学習します。物語文は「主題を考える」、随筆文は「体験と感想を読み分ける」、詩は「種類と表現技法」を学ぶことが主なテーマです。知識はことわざ・慣用句・故事成語の後、文法事項の品詞の理解へ進んでいきます。文章の種類ごとに、意図的に読み方を切り替えていく技術を身につけるていきましょう。まず目の前の文章の種類を判別し、物語文なら「背景」→「出来事」→「気持ち」の流れ、随筆文の場合は「体験」と「筆者の考え」の関係を押さえようと意識しながら読みます。出来事と筆者の考えがすぐに分かるように、的確な箇所にピンポイントに線を引きながら読む練習を続けることも大切です。文法に関しては、お子さんによりますが、品詞分類表などを用いて体系的に整理させた方が理解が深まる場合があります。可能であればご家庭で解説してあげてください。用言の3つの言い切りの形、名詞は主語になれるなど、品詞判別における重要事項は身につけておくことが大切です。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 物語の主題の掴み方がわかってきましたか？ | チェック |
| | 解決策 | 「〇〇主人公は□□する（になる）話」といった定形にあてはめてみるといいですね | □ |
| | チェック2 | 随筆文では出来事と筆者の考えを読み分けられていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 文章への線引なども工夫してみましょう | □ |
| | チェック3 | 動詞、形容詞、形容動詞の判別ができていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 活用の形を一通り教えてあげるのが、回り道に見えて効果が高いお子さんも多くいます | □ |
| | チェック4 | テストの直しは順調にできていますか？ | チェック |
| | 解決策 | ためてしまわないように、返却されたらすぐにやっておきましょう | □ |
| | チェック5 | 語彙ををコツコツと増やす努力を続けていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 朝学習など生活の中に「ルーティーン」として取り入れることをおすすめします | □ |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日能研 | 5年 | | | | | | | |
| | 理科 | | | | | | | |
| 学習内容 | 10回　中和と化学反応<br>11回　電流と回路<br>12回　電流の強さ<br>13回　電流と磁界 | | | | | | | |
| 家庭学習ポイント | 11月は化学分野「中和と化学反応」物理の単元「電流と回路」「電流の強さ」「電流と磁界」を扱います。化学分野の「中和と化学反応」では本格的な化学の比例計算を学習します。化学分野の表やグラフについては、問題文を正確に読みつつ、単位にも注意を払って何を示すものなのか把握しましょう。何と何が比例関係にあるのか、過不足なく反応する量の組み合わせはどこか、その関係を計算でどのように使うかを説明できるようにしておきましょう。過不足なく反応する組み合わせが見つかったらそれを「ことばの式」に書き込み、問題で問われている量の組み合わせがその何倍になっているかを計算します。中和反応は2つのものが反応して起こることですから、一方の量が足りないと反応が起こりません。このことを念頭に「少ない方に合わせて計算する」ということが大切です。電流においては「電流＝電気の流れ」「電圧＝電池が電気を流す力」「電気抵抗＝電気が流れにくい通り道」というイメージをしっかり持つことです。同じ電圧（電池のパワー＝豆電球の直列個数）であれば電気抵抗が2倍になると、回路に流れる電流が半分になるということを「実感」をもって理解できているかどうかが大切です。 | | | | | | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 中和の問題で「過不足なく反応する量の組み合わせ」を見つけられていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 表やグラフの変化のしかたをよく観察しましょう | □ | | | | | |
| | チェック2 | 化学計算では「ことばの式」を書いて計算していますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 中和計算では「水酸化ナトリウム＋塩化水素⇒塩化ナトリウム＋水」といった式ですね | □ | | | | | |
| | チェック3 | 電流の問題で、電流、電圧、電気抵抗の「イメージ」を持つことができていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 乾電池＝電気を流そうとする力⇒電圧・豆電球＝電流が流れにくいところ⇒電気抵抗　ですね | □ | | | | | |
| | チェック4 | 電気回路の「ショート」について理解できていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 「豆電球＝電気抵抗」がないと「遮るものがまったくない」というイメージですね | □ | | | | | |
| | チェック5 | 電流によってできる磁界について理解できていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 方位磁針のN極がふれる方向を正しく答えられるかチェックしてみましょう | □ | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日能研 | 5年 | | | | | | | |
| | 社会 | | | | | | | |
| 学習内容 | 10回　戦乱を終わらせた人たち<br>11回　強力な支配の中で生きた人々<br>12回　国を閉ざした日本<br>13回　ききんと改革 | | | | | | | |
| 家庭学習ポイント | 11月は安土桃山時代と江戸時代について学習します。第10回では、信長と秀吉と家康の「天下統一」の歩みを時系列に沿って覚えていけば大丈夫です。目まぐるしく状況が変わっていく時代ですが、逆に学習しやすいとも言えます。第11回以降、江戸時代に入ると、外交（鎖国）や文化、産業の変化など「年表」以外の整理項目も増えていきます。江戸時代は、扱われる知識が多く混乱しがちな時代ですが、大きく分けると、「鎖国への流れと大名統制」「財政難と三大改革」「元禄文化と化政文化」「農業と交通の変化」「開国への流れ」の５つのパートに分けられます。江戸時代に関して学ぶ内容で年表に落とし込んで整理できるパートは、しっかりまとめて整理しておきましょう。12回「鎖国への流れ」や13回「三大改革」といった部分は、年号と人名を軸に年表上で整理しておくのがおすすめです。一方で元禄文化・化政文化や交通（海上交通と五街道など）に関しては、別途、表や地図をもとにまとめて整理しておくといいでしょう。 | | | | | | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 応仁の乱～豊臣秀吉の天下統一までの年表がざっくり頭の中に入っていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 激動の時代、つまりストーリーとして理解しやすい100年余りとなっています | □ | | | | | |
| | チェック2 | 戦乱などが起きた場所を日本地図上で把握していますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 歴史の学習では往々にして「どこで起きているのか？」がわからなくなりがちです | □ | | | | | |
| | チェック3 | 長い江戸時代、おおまかな「区切り感」を持てていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 成立期（1～3代）・安定期（4～7代）・改革期（8～12代）・幕末期（13～15代）のイメージです | □ | | | | | |
| | チェック4 | 戦や乱、政変だけでなく、文化や人々の暮らしにも目を向けていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 特に江戸時代の元禄文化・化政文化はそれぞれの特徴と背景、違いを把握しておくことが重要です | □ | | | | | |
| | チェック5 | 歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？ | チェック | | | | | |
| | 解決策 | 古代～中世くらいのうちに「因果関係で流れを掴む」学習法を身につけてしまいましょう | □ | | | | | |